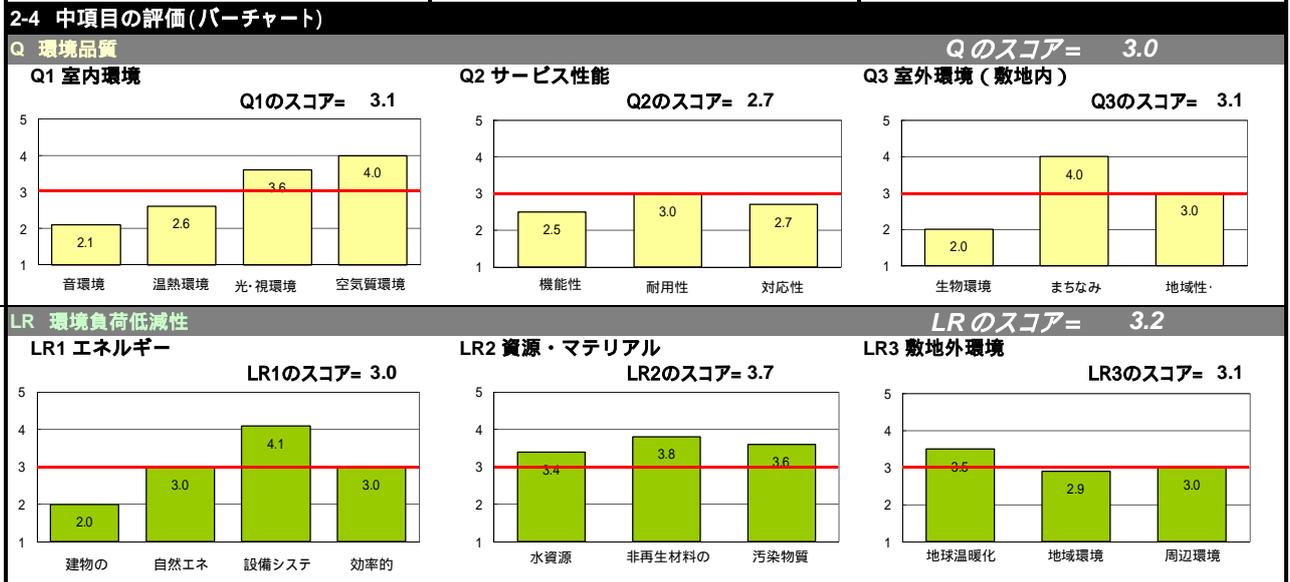
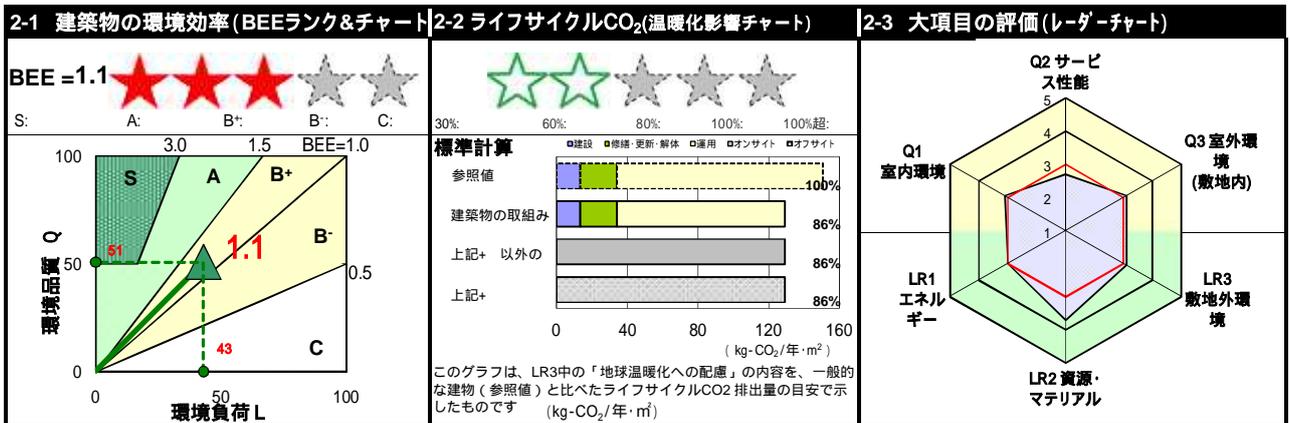


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ネクサコート橋本	階数	地上5F
建設地	相模原市緑区西橋本1丁目579番2	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	87人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2013年3月22日
敷地面積	1,910 m ²	作成者	福井英晴建築設計事務所
建築面積	1,144 m ²	確認日	2013年3月26日
延床面積	4,017 m ²	確認者	福井英晴建築設計事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 施設内の快適性を確保するため、音環境(床衝撃音)、光視環境(昼光率確保、照明制御)、空気質環境(F 建材、自然換気窓)の向上に努めている。	Q2 サービス性能 施設のサービス性能向上のため、機能性(個室の広さ)、将来の更新性(仕上材・設備配管などの建材材の耐久性、設備や空間のプランニングの自由度)に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 空気を設け道路からcutバックさせるなど周囲への圧迫感軽減に配慮。交差点に面し植栽帯を設け、通りからの景観性にも配慮している。
LR1 エネルギー 適切な断熱による冷暖房負荷、空調機/照明器具に関して高効率の設備を採用しエネルギー量の低減に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 省資源への貢献として、水資源(節水型衛生設備)、建材再利用性(リサイクル建材、解体時の資材分別容易性)、汚染物質回避(ノゾル断熱材)に配慮している。	LR3 敷地外環境 敷地外環境への負荷軽減のため、十分な断熱性能や高効率機器の積極的な採用によるLCCO2排出量削減、光害の抑制に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L:** Load (建築物の環境負荷)、**LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、**BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される